

Next-Infillが実現するリノベーション効率化と エンドユーザーべネフィット。

株式会社アルクでは自社開発による「NEXT-Infill工法」の提供に加えて、省エネと安全快適な生活空間のためのリノベーションメソッドをサポートしています。施工会社、建築現場のみならず、快適な暮らしを願うエンドユーザーにもかけがえのないメリットをもたらします。

配送・納品

あらかじめ工場生産された部品は、部品展開マニュアルにより数量を拾い出され施工現場内までシステムチックに納品されます。数量の拾い出しは部品展開マニュアルによって誰にでも可能。また配送管理や荷揚げの手間がかからず職人は作業に専念できます。



静音施工

マンションリノベーション工事における施工音や振動は、近隣の方への心理的負担を増やします。「NEXT-Infill」では、コンクリート躯体へのビス打ちや、石膏ボードを留めるために数千本も使用するビス打ち作業を最少化。独自に検討を進めた「静音施工」を実現し、近隣の方や施工作業者の心理的負担を軽減します。

廃材を1/3に

従来工法では工事現場で木材を切断しながら下地を組み上げていくのに対し、「Next-Infill」では加工済み木質パネルを現場で組み立てるスマートなプロセスを採用。余剰材、廃材の大幅減少が可能になります(床工事における廃材は従来の1/3)。同時に施工時のホコリなども減少、近隣住戸への負担も軽減します。

ARC

株式会社アルク

T221-0052 横浜市神奈川区栄町10-35-W804

電話／Fax:045-453-4522

Mail(PC):yoadachi@arc-jpn.jp

可変性

Next-Infill工法はライフスタイルの変化などによる将来の間取り変更にも容易に対応できます。

設備システムのプレハブ化

株式会社アルクでは、給水・給湯を一元的に分配するヘッダー配管、さらに電気配線の施工性を格段に効率化するユニットケーブルをプレハブ化して供給。水漏れや漏電事故がない安心とメンテナンス性、さらには高速インターネット等の機器の高性能化に対応する設備システムをサポートします。



漏水・漏電不安を解消

老朽化したマンションの給排水管は確実に劣化が進んでおり、特に鋼管は錆や腐食により漏水や健康被害なども懸念されます。Next-Infill工法では耐久性に優れ、給水・給湯を一元化するヘッダ配管をサポート、さらに電気配線についても施工性に優れたユニット配線を採用。簡単な施工で高い安全性を確保できます。



品質の確保について

Next-Infill工法はライフスタイルの変化などによる将来の間取り変更にも容易に対応できます。
間仕切り壁荷重試験
ペターリング壁ユニット性能基準による衝撃力、水平加力試験
本試験体撲み量:BL壁ユニット基準
6mm < 20mm以下 = 大幅にクリア
※破壊荷重試験:約6000Nt



素材生産工場
JAS認定



6面断熱

家の周りを全部断熱。24時間換気の空気循環とあわせ、冷暖房費が削減でき、エコな生活と快適で安全な生活を提供します。また、結露が発生しにくく、遮音にも大きな効果をもたらします。

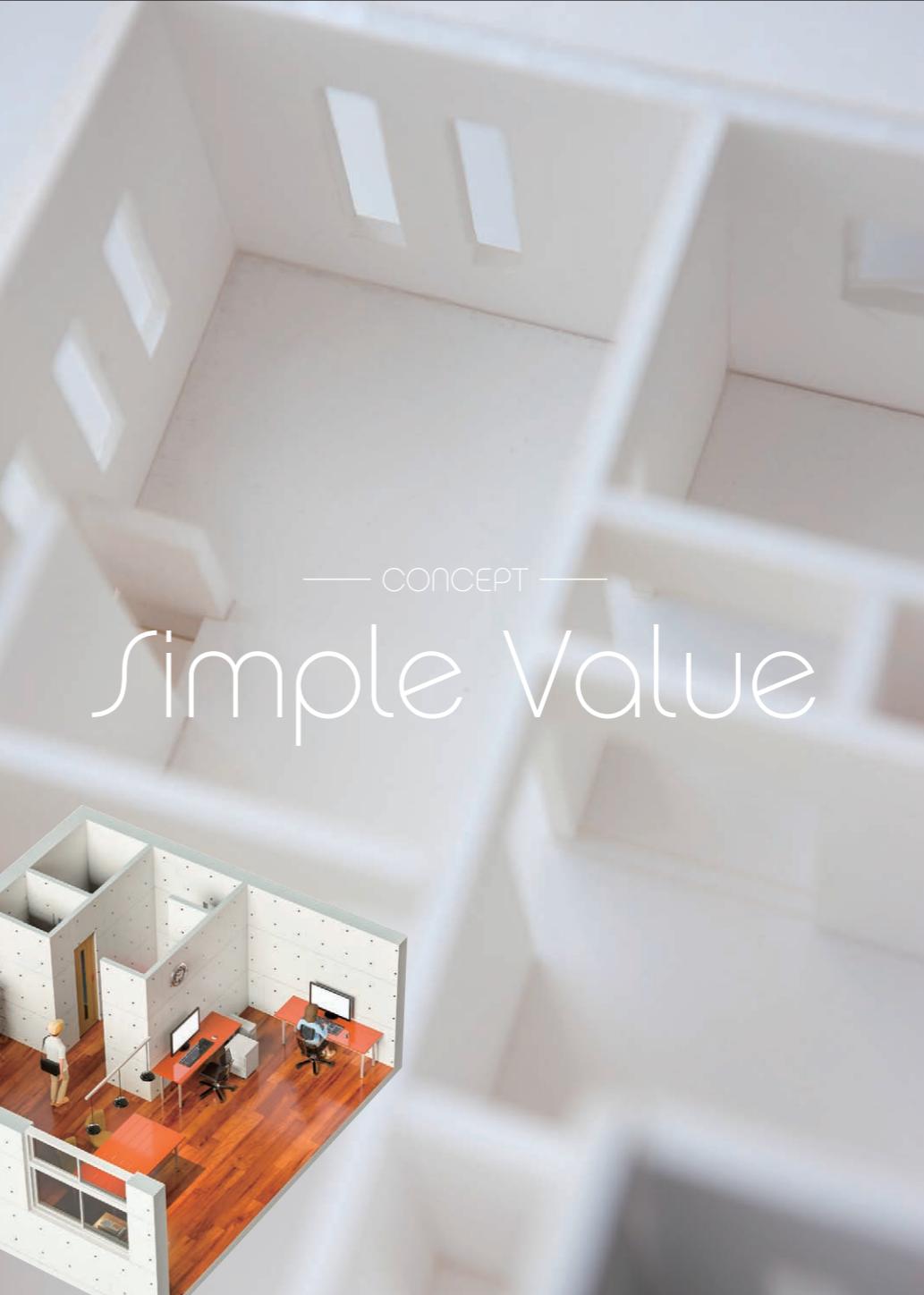


建物の調査・診断

株式会社アルクでは、リノベーションを予定しているマンションの性能や経年劣化等の状況などについて予め調査・診断を行っています。調査は建物の躯体状況から、居住性、遮音性、衛生環境、設備の安全性、通信環境、換気性能など多岐・細部に渡り、適正なリノベーション施工のための処方箋として活用いただいているいます。



お問い合わせは



NEXT-Infill®

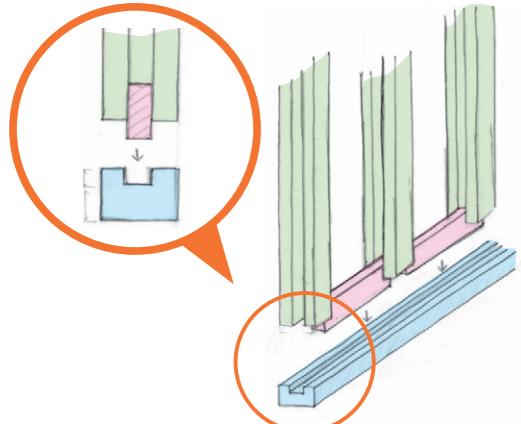
ARC
株式会社アルク

NEXT-Infill®

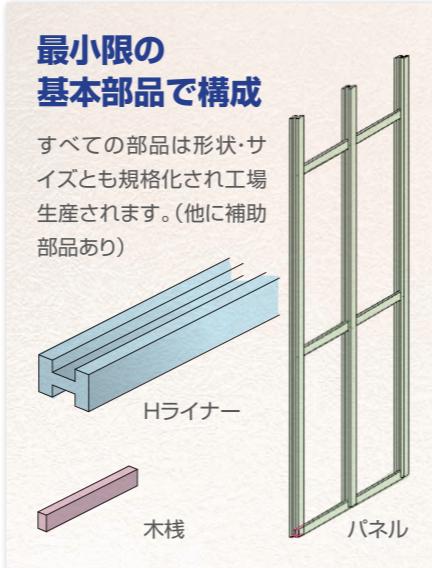
システム概要

最小限の基本部品とシンプルな組立性能により、あらゆる下地工程に対応。

1 最小限の基本部品と簡単・自由な組立性能



規格化された部品を組み立てるだけの簡単設計。

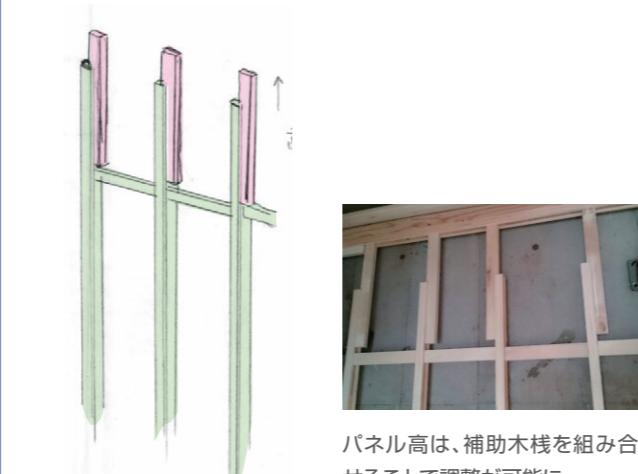


2 部材ごとの墨出しは不要



端の墨が出たら、以降は自動的に303mm間隔になる。

3 長さ調整にもワンタッチ対応

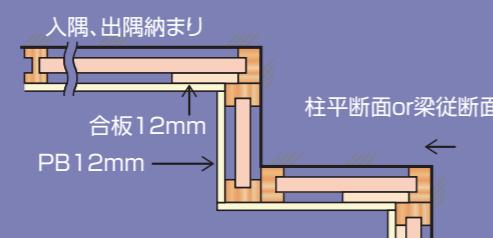


パネル高は、補助木桟を組み合わせることで調整が可能に。

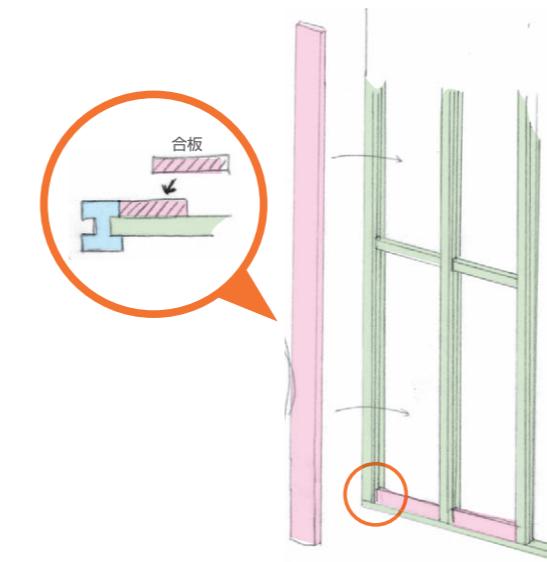
梁・柱周りなどのディテール部の施工も容易に

「Next-Infill®」システムでは、資材加工、配送、パネル組立を省力化することで、解体から引き渡しまでほぼ30日*という短工期を実現しています。従来工法が約40日要していたところを大幅に短縮したことになります。資材・施工が規格化されているため工期遅延も防止できます。

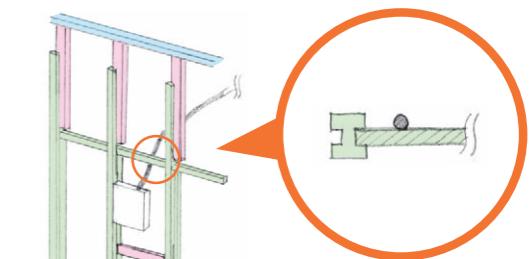
*諸条件により工期は増減します。



4 補助合板の組み合わせで補強も容易に

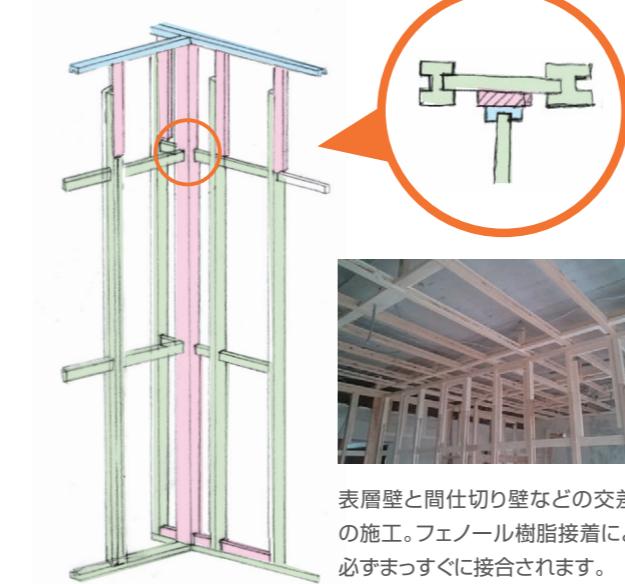


5 電気配線 電気BOX設置が自在に



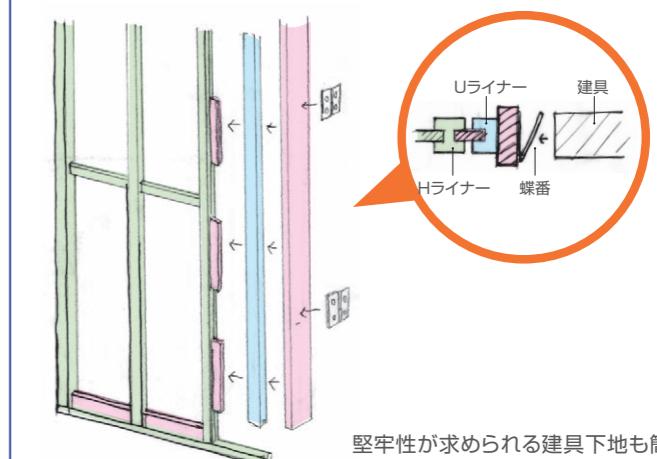
場所を問わず、電気配線・BOX設置が可能になります。

6 交差部の接続も容易に



表層壁と間仕切り壁などの交差部の施工。フェノール樹脂接着により必ずまっすぐに接合されます。

7 建具下地の堅牢化



堅牢性が求められる建具下地も簡単に補強できます。

短工期・低コスト

「Next-Infill®」システムでは、資材加工、配送、パネル組立を省力化することで、解体から引き渡しまでほぼ30日*という短工期を実現しています。従来工法が約40日要していたところを大幅に短縮することになります。資材・施工が規格化されているため工期遅延も防止できます。※諸条件により工期は増減します。

施工時間

従来
42時間／7日間

*1日の施工時間6.5時間とする。

Next-Infill®
17時間／3日間

コスト (大工日当)

従来
25,000円×7日
175,000円

Next-Infill®
25,000円×3日
75,000円